

□議員名：矢田松夫

1 埴生地区複合施設整備事業について

論点	埴生中学校入口に建設場所を決定したのは、埴生地域全体の合意だったのか。
回答	いろいろな手法を使って、意見交換会へ参加者が来ていただいたので、埴生地区の合意があったものと判断をしている。

論点	いつもの2～30人のメンバーで、大方の埴生地域全体の合意がとれたのか。この結論が本当の埴生地域の民主主義なのか。
回答	25年10月から何度となく、埴生地区の皆さんの民主的な意見を聞き、適正なやり方で開催してきた。

論点	開催場所を1か所に限定し、開催し続けてきたことが結果として、幅広い地域・年齢・職業・団体から合意形成が出来たのか。
回答	啓発の努力が足らなかったが、地元関係団体やPTA団体等、集まってくれよう精一杯努力をしてきた。埴生には公民館が1つしかないという認識である。

論点	青年の家付近は危険であるという根拠はあるのか。
回答	ハザードマップでは想定外という最高の被害予想を出していくと、沿岸部分は事前に避難が必要となっている。

論点	避難場所については、危険な場所に逃げるのではなく、高台等に逃げるといふ自助の行動があれば、被害は少なくなるが。
回答	そのとおりであり、危険性を認知し自助努力で被害が減少する。避難場所は一定程度避難者が生活する場所にもなる。

論点	危険という基準に一貫性がなく、基準・規範が都合により変わっており、二重基準となっている。
回答	災害時や災害後を考えると、建設場所については、いろんな形で決定しなければならない。

論点	民意の点で埴生地区複合施設について、すべてに満足をしているのか。
回答	100%素晴らしい位置に建設できるとは思わない。適当な場所を選択することができなかった。合併特例債の活用期限もあったので、最後は建てるにはここだと決断をした。